



参天製薬株式会社  
Santen Pharmaceutical Co., Ltd.

# Data Book 2003

---

2003年3月期

【お問い合わせ先】

**参天製薬株式会社**

コーポレート・コミュニケーション グループ IR担当

TEL . 06 (6321) 7007 FAX . 06 (6321) 8400

e-mail [ir@santen.co.jp](mailto:ir@santen.co.jp)

証券コード : 4536

## 2003-2005 中期経営計画

参天製薬は、今後3年間で2006年度以降の飛躍のための準備期間と位置付け、収益体質への改革と研究開発力の強化に徹底して取り組んでまいります。これにより、中長期的には、従来の強みである販売・マーケティング力のさらなる向上に加え、眼科およびリウマチ/骨・関節分野における「製品開発力を成長の源泉とする会社」への進化を図ります。

### 基本方針

1. 収益力の回復
2. 研究開発力の強化
3. 組織力の強化

### 数値目標

	2006年3月期
売上高	930億円
営業利益	180億円
当期純利益	100億円
株主資本当期 純利益率(ROE)	10.0%



2003年3月期 実績
902億円
126億円
85億円
8.8%

### 重点課題

#### 1. 収益力の回復

- 米国事業の早期収益化
- 費用削減の実施
- 国内収益基盤の維持・改善

#### 2. 研究開発力の強化

- 新製品開発のスピードアップ
- 経営資源の重点的配分による新薬候補化合物の充実

#### 3. 組織力の強化

- コーポレート・ガバナンスの充実・強化
- 人材育成、組織マネジメント能力の向上

\*2003-2005 中期経営計画の詳細は、ホームページをご覧ください。

( <http://www.santen.co.jp/ir/jp/news/pdf/200302202.pdf> )

<b>財務ハイライト</b>		2
	連結 業績の推移	2
	連結 貸借対照表推移	2
	連結 主な財務指標の推移	2
	連結 その他	2
	単体 業績の推移	2
<b>連結情報</b>		4
	連結損益計算書	4
	損益計算書明細	5
	連結損益計算書増減ポイント売上高	5
	主な販売費及び一般管理費の内訳	5
	主な営業外損益の内訳	5
	主な特別損益の内訳	5
	売上明細	6
	医療用医薬品主要品目別売上高	6
	販売部門別売上高合計	8
	地域別明細	9
	所在地別 明細	9
	海外売上高	9
	連結貸借対照表	10
	資産の部	10
	負債および資本の部	11
	連結キャッシュフロー計算書	12
	設備投資・人員	13
	設備投資額	13
	減価償却費	13
	リース料	13
	期末人員数	13
	連結会社・関連会社一覧	14
	グループ会社関係図	14
	連結会社一覧	14
<b>単体情報</b>		16
	単体損益計算書	16
	主な販売費及び一般管理費の内訳	16
	販売部門別売上高	17
	単体貸借対照表	18
	資産の部	18
	負債および資本の部	19
<b>参考情報</b>		20
	研究開発の状況	20
	医薬品開発状況一覧表（臨床段階）	20
	医薬品開発状況一覧表（臨床準備中 一部）	21
	医療機器 開発状況一覧表	21
	前回発表時(2002年11月7日)との変更点	21
	研究開発部門人員数の推移	21
	国内医薬品市場の状況	22
	薬価改定率	22
	主な医療保険制度改正	22
	マーケットシェア	23
	医療用眼科薬～薬効別マーケットシェア	23
	株式情報	24
	株価情報	24
	大株主の状況	24
	転換社債・ストックオプションの状況	24
	所有株式数別分布状況	25
	所有者別株主分布状況	25
	ニュースリリース	26

# 財務ハイライト

## 【連結】 業績の推移

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)	2004.3 (予想)	対前期増減率 (%)
売上高 (百万円)	79,639	83,577	88,448	88,966	90,252	1.4	90,800	0.6
営業利益 (百万円)	16,625	17,508	16,538	11,790	12,697	7.7	13,300	4.7
経常利益 (百万円)	15,832	17,445	16,897	12,107	12,899	6.5	14,800	14.7
当期純利益 (百万円)	8,105	7,941	7,713	5,305	8,502	60.3	6,800	-20.0

## 貸借対照表推移

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)		
総資産 (百万円)	144,913	149,968	153,242	152,103	147,147	-3.3		
株主資本 (百万円)	88,950	95,669	94,834	95,101	97,125	2.1		
有利子負債 (百万円)	26,402	25,747	25,092	24,466	23,047	-5.8		

## 主な財務指標の推移

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)	2004.3 (予想)	対前期増減率 (%)
1株当たり当期純利益 EPS (円)	85.27	83.54	81.32	57.34	93.67	63.4	77.33	-17.4
デッドエクイティレシオ (倍)	0.29	0.27	0.26	0.25	0.23	-	-	-
株価収益率 PER (倍)	25.9	26.3	27.3	25.3	12.3	-	-	-
株価純資産倍率 PBR (倍)	2.56	2.35	2.17	1.38	1.04	-	-	-
株主資本当期純利益率 ROE (%)	9.5	8.6	8.1	5.6	8.8	-	-	-
フリーキャッシュフロー (百万円)	13,250	6,862	1,889	356	8,762	2,361.2	-	-
EBITDA (百万円)	22,868	20,608	21,633	18,479	14,738	-20.2	-	-

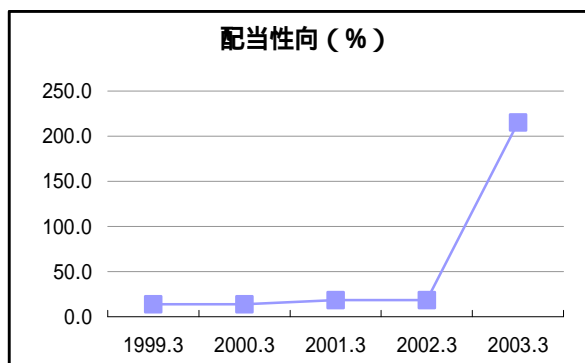
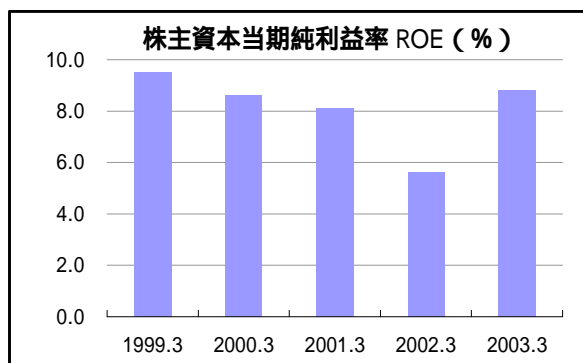
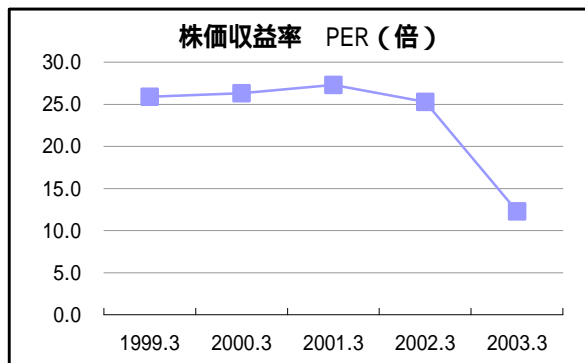
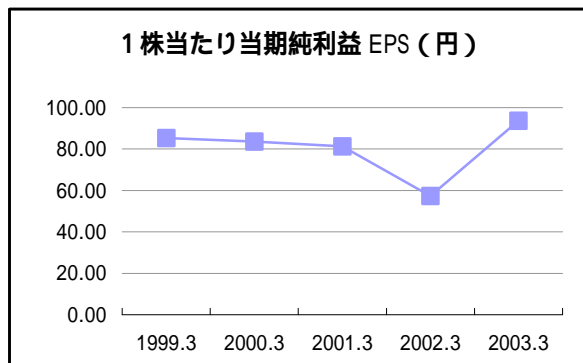
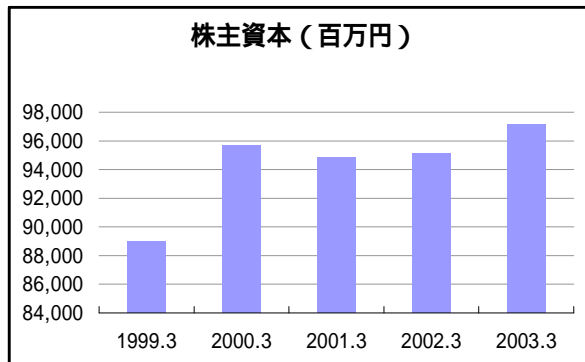
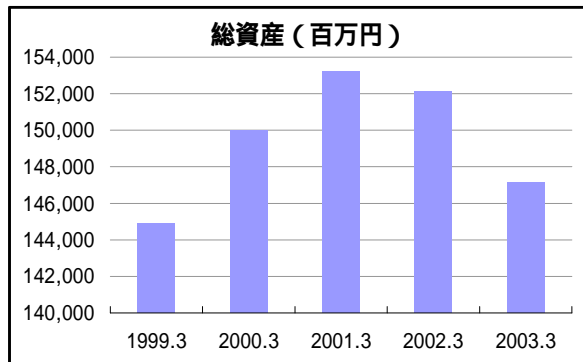
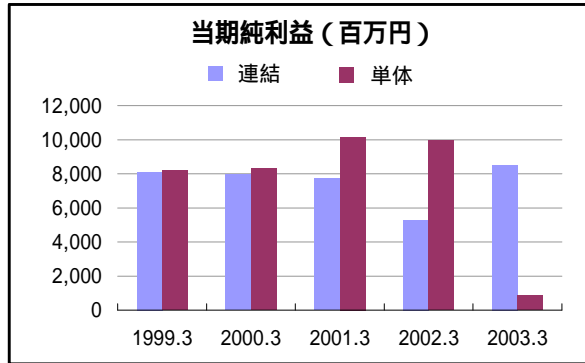
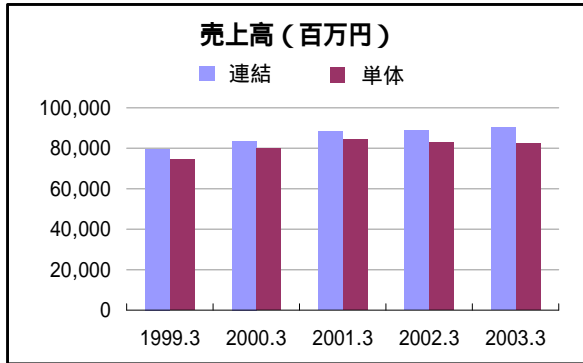
フリーキャッシュフロー = [営業活動によるキャッシュフロー] - [設備投資額]  
 期末日が金融機関の休日に当たる場合の調整はしていません。  
 EBITDA = [税引前当期純利益] + [支払利息] + [減価償却費]

## その他

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)	2004.3 (予想)	対前期増減率 (%)
研究開発費 (百万円)	7,334	9,220	10,510	12,186	12,719	4.4	13,000	2.2
設備投資額 (百万円)	2,018	2,222	3,039	8,516	4,134	-51.5	3,930	-4.9
減価償却費 (百万円)	4,343	4,045	4,336	3,837	3,638	-5.2	4,190	15.2
期末従業員数	2,037	2,093	2,167	2,463	2,500	-	-	-

## 【単体】 業績の推移

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)	2004.3 (予想)	対前期増減率 (%)
売上高 (百万円)	74,498	79,669	84,295	82,990	82,372	-0.7	82,600	0.3
営業利益 (百万円)	15,979	17,596	18,712	15,586	17,329	11.2	17,000	-1.9
経常利益 (百万円)	16,029	17,708	19,072	16,060	17,011	5.9	19,100	12.3
当期純利益 (百万円)	8,192	8,312	10,165	9,932	871	-91.2	11,300	1,196.9
配当金 (円/株)	12	12	20	20	20	-	20	-
配当性向 (%)	13.9	13.7	18.5	18.5	215.1	-	-	-



# 連結情報 連結損益計算書

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
<b>売上高</b>	<b>79,639</b>	<b>83,577</b>	<b>88,448</b>	<b>88,966</b>	<b>90,252</b>	1.4
売上原価 (対売上高比率)	32,670 41.0%	32,175 38.5%	33,363 37.7%	32,699 36.8%	32,271 35.7%	-1.3
<b>売上総利益</b> (対売上高比率)	<b>46,968</b> 59.0%	<b>51,401</b> 61.5%	<b>55,085</b> 62.3%	<b>56,266</b> 63.2%	<b>57,981</b> 64.3%	3.0
販売費及び一般管理費 (対売上高比率)	30,343 38.1%	33,893 40.6%	38,546 43.6%	44,475 50.0%	45,284 50.2%	1.8
うち研究開発費 (対売上高比率)	7,334 9.2%	9,220 11.0%	10,510 11.9%	12,186 13.7%	12,719 14.1%	4.4
<b>営業利益</b> (対売上高比率)	<b>16,625</b> 20.9%	<b>17,508</b> 20.9%	<b>16,538</b> 18.7%	<b>11,790</b> 13.2%	<b>12,697</b> 14.1%	7.7
営業外収益	1,308	1,338	1,414	1,128	1,269	12.5
営業外費用	2,101	1,400	1,055	811	1,066	31.4
<b>経常利益</b> (対売上高比率)	<b>15,832</b> 19.9%	<b>17,445</b> 20.9%	<b>16,897</b> 19.1%	<b>12,107</b> 13.6%	<b>12,899</b> 14.3%	6.5
特別利益	313	202	57	952	17	-98.2
特別損失	177	3,225	1,434	380	2,969	680.2
<b>税金等調整前当期純利益</b> (対売上高比率)	<b>15,968</b> 20.1%	<b>14,422</b> 17.3%	<b>15,520</b> 17.5%	<b>12,678</b> 14.3%	<b>9,947</b> 11.0%	-21.5
法人税、住民税及び事業税	8,351	8,508	8,973	6,932	463	-93.3
法人税等調整額	-488	-2,027	-1,166	440	981	122.6
<b>当期純利益</b> (対売上高比率)	<b>8,105</b> 10.2%	<b>7,941</b> 9.5%	<b>7,713</b> 8.7%	<b>5,305</b> 6.0%	<b>8,502</b> 9.4%	60.3

## 【為替換算レート】

(単位：円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	2004.3 (予想)
為替換算レート：ドル	120.55	106.15	110.54	125.57	121.87	123.00
：ユーロ	-	106.32	100.02	110.07	119.93	120.00

**連結損益計算書増減ポイント  
【売上高】**

(単位：百万円)

	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
クラビット点眼液	12,338	12,691	2.9
タリビッド点眼液	7,184	5,566	-22.5
クイクシン	545	1,399	156.7
デタントール	593	1,498	152.6
リボスチン点眼液	2,225	3,028	36.1
ヒアレイン	12,130	13,156	8.5
アザルフィジンE N錠	2,605	2,880	10.5
一般用医薬品	6,592	5,656	-14.2

**主な販売費及び一般管理費の内訳**

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
人件費	9,070	9,615	10,049	11,919	12,084	1.4
拡販費	1,990	2,499	3,366	4,014	4,253	6.0
販売権行使料	2,181	2,174	2,552	2,457	2,173	-11.5
広告宣伝費	2,186	2,183	1,578	2,189	2,218	1.4
研究開発費	7,334	9,220	10,510	12,186	12,719	4.4

**主な営業外損益の内訳**

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
受取利息及び配当金	657	565	578	304	268	-11.8
ロイヤリティ収入	158	189	-	-	-	-
支払利息	587	461	430	465	480	3.2
有価証券売却損	187	42	-	-	-	-
有価証券評価損	298	134	-	-	-	-
営業権償却費	731	590	239	263	287	9.0

**主な特別損益の内訳**

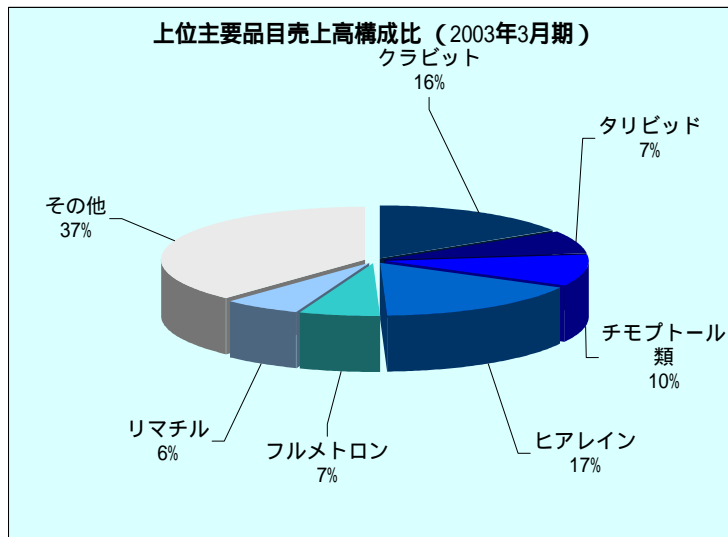
(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
プリストン債訴訟和解金	-	-	-	886	-	-
投資有価証券売却益	264	-	-	32	15	-52.0
投資有価証券評価損	-	991	-	178	601	237.5
特定金銭信託解約損	122	-	-	-	-	-
過年度退職給与引当金繰入額	-	2,037	-	-	-	-
製品回収損	-	-	906	-	-	-
総合型厚生年金基金脱退特別掛金	-	-	-	-	2,202	-

# 売上明細

## 医療用医薬品主要品目別売上高

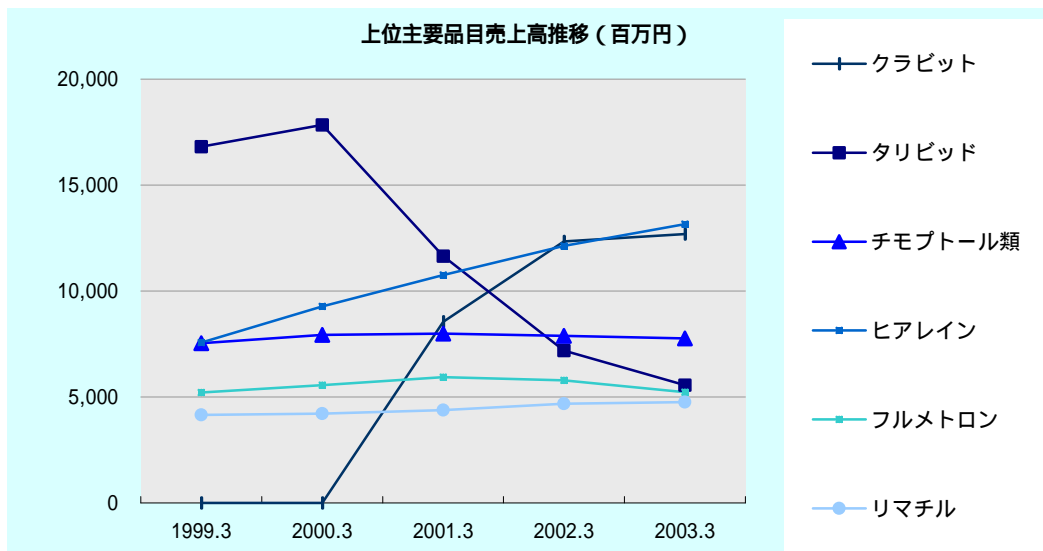
薬効分類	有効成分・剤形	品目名	主な販売地域	販売年月日
合成抗菌点眼剤	レボフロキサシン点眼液	クラビット	日本	2000年4月
		クイクシン	米国	2000年11月
緑内障治療剤	オフロキサシン点眼液	タリビッド	日本	1987年9月
	マイレン酸チモロール点眼液	チモプトール	日本	1981年9月
	マイレン酸チモロール持続性点眼液	チモプトールXE	日本	1999年11月
	塩酸ジピペフリン点眼液	ビバレフリン	日本	1988年12月
	塩酸ブナゾシン点眼液	デタントール	日本	2001年9月
	チモロール1/2水和物点眼液	ベチモール	米国	1995年6月
	塩酸レボカバステチン点眼液	リボスチン	日本	2001年1月
抗アレルギー点眼剤	ペミロラストカリウム点眼液	アレギサル	日本	1995年4月
		アラマスト	米国	2000年7月
		ザジテン	日本	1991年7月
角膜疾患治療剤	ヒアルロン酸ナトリウム点眼液	ヒアレイン	日本	1995年6月
抗炎症点眼剤	フルオロメトロン点眼液	フルメトロン	日本	1975年10月
初期老人性白内障治療剤	ピレノキシン点眼液	カリーユニ	日本	1992年7月
眼科手術補助剤	ヒアルロン酸ナトリウム眼科手術補助	オベガンハイ	日本	1995年1月
眼灌流・洗浄液	オキシグルタチオン眼灌流・洗浄液	ビーエスエスプラス	日本	1992年1月
抗リウマチ剤	サラゾスルファピリジン腸溶錠	リマチル	日本	1987年9月
		アザルフィジンEN錠	日本	1995年12月





(単位：百万円)

1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)	2004.3(予想)	対前期増減率 (%)	品目名
-	-	8,543	12,338	12,691	2.9	12,920	1.8	クラビット
-	-	189	545	1,399	156.7	1,840	31.5	クイクシン
16,807	17,838	11,639	7,184	5,566	-22.5	4,980	-10.5	タリビッド
7,537	7,418	6,363	5,745	5,289	-7.9	4,890	-7.5	チモプトール
-	514	1,634	2,145	2,477	15.4	2,690	8.6	チモプトールXE
2,342	1,693	1,135	848	628	-25.9	600	-4.5	ピバレフリン
-	-	-	593	1,498	152.6	2,060	37.5	デタントール
438	387	229	892	856	-4.0	1,040	21.5	ベチモール
-	-	1,204	2,225	3,028	36.1	3,440	13.6	リボスチン
996	1,011	1,016	865	848	-2.0	850	0.2	アレギサール
-	-	80	207	199	-3.9	250	25.6	アラマスト
6,320	4,643	4,718	166	-	-	-	-	ザジテン
7,571	9,281	10,758	12,130	13,156	8.5	13,380	1.7	ヒアレイン
5,211	5,566	5,938	5,792	5,234	-9.6	5,150	-1.6	フルメトロン
2,495	2,743	2,909	3,092	3,326	7.6	3,180	-4.4	カリーユニ
2,292	2,496	2,449	2,319	2,305	-0.6	2,190	-5.0	オベガンハイ
1,927	2,086	2,058	2,010	1,505	-25.1	1,240	-17.6	BSSプラス
4,160	4,209	4,380	4,685	4,751	1.4	4,920	3.6	リマチル
1,732	2,095	2,349	2,605	2,880	10.5	3,040	5.6	アザルフィジンEN錠



# 売上明細

## 販売部門別売上高合計

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
医療用医薬品	69,090	73,168	78,878	78,149	79,345	1.5
眼科薬	61,708	65,561	71,231	70,043	71,122	1.5
抗リウマチ薬	5,893	6,305	6,729	7,291	7,631	4.7
その他	1,488	1,301	916	814	591	-27.4
一般用医薬品	6,445	6,964	5,225	6,592	5,656	-14.2
医療機器	980	1,017	1,144	916	918	0.3
その他	3,122	2,425	3,170	3,308	4,332	30.9
合計	79,639	83,577	88,448	88,966	90,252	1.4

## 【うち国内】

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
医療用医薬品	65,779	70,018	75,435	72,270	72,010	-0.4
眼科薬	58,649	62,637	67,919	64,425	64,009	-0.6
抗リウマチ薬	5,760	6,182	6,661	7,156	7,537	5.3
その他	1,369	1,198	853	688	463	-32.7
一般用医薬品	6,432	6,947	5,207	6,555	5,623	-14.2
医療機器	980	1,017	1,143	839	853	1.7
その他	787	807	966	982	1,245	26.8
合計	73,980	78,789	82,753	80,647	79,732	-1.1
(国内売上高構成比)	92.9%	94.3%	93.6%	90.7%	88.3%	-

## 【うち海外】

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
医療用医薬品	3,311	3,150	3,443	5,878	7,335	24.8
眼科薬	3,059	2,924	3,312	5,617	7,112	26.6
抗リウマチ薬	133	123	67	134	94	-29.9
その他	119	103	63	126	128	1.9
一般用医薬品	13	17	47	36	32	-10.7
医療機器	-	-	-	76	65	-14.5
その他	2,335	1,618	2,204	2,325	3,086	32.7
合計	5,659	4,788	5,695	8,318	10,519	26.5
(海外売上高構成比)	7.1%	5.7%	6.4%	9.3%	11.7%	-

# 地域別明細

## 所在地別 明細

		1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
所在地別 売上高	日本	74,648	93.8	79,781	95.4	84,138	95.1	82,623	92.9	81,857	90.7
	欧州	4,570	5.7	2,907	3.5	3,016	3.4	4,844	5.4	6,642	7.4
	その他	420	0.5	887	1.1	1,293	1.5	1,497	1.7	1,752	1.9
	合計	79,639	100.0	83,577	100.0	88,448	100.0	88,966	100.0	90,252	100.0
	所在地別 営業費用	日本	54,166		57,385		59,951		64,263		61,865
	欧州	4,138		3,428		6,187		9,327		11,442	
	その他	2,592		3,590		5,848		9,385		10,482	
	計	60,897		64,404		71,987		82,976		83,790	
	消去又は全社	2,116		1,664		-77		-5,800		-6,234	
	連結合計	63,014		66,069		71,910		77,175		77,555	
所在地別 営業利益	日本	20,490		22,411		24,482		18,879		20,652	
	欧州	551		-117		-2,307		-3,384		-3,816	
	その他	-184		-52		45		-473		-1,082	
	計	20,857		22,242		22,220		15,021		15,753	
	消去又は全社	-4,232		-4,734		-5,681		-3,230		-3,056	
	連結合計	16,625		17,508		16,538		11,790		12,697	

欧州.....フィンランド、スウェーデン、ドイツ、オランダ

その他.....アメリカ、台湾、韓国

\*欧州には、米国で販売した眼科薬の売上高が含まれています。

## 海外売上高

		1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
欧州		3,905	69.0	2,488	52.0	2,252	39.5	3,009	36.2	3,505	33.3
北米		852	15.1	1,437	30.0	2,206	38.8	3,499	42.1	4,649	44.2
その他		901	15.9	862	18.0	1,237	21.7	1,809	21.7	2,364	22.5
合計		5,659	100.0	4,788	100.0	5,695	100.0	8,318	100.0	10,519	100.0

欧州.....フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、ロシア

北米.....アメリカ、カナダ

その他.....東南アジア諸国

\*海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

# 連結貸借対照表

## 資産の部

	1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)
<b>流動資産</b>	<b>78,018</b>	<b>53.8</b>	<b>82,218</b>	<b>54.8</b>	<b>88,025</b>	<b>57.4</b>	<b>86,064</b>	<b>56.6</b>	<b>83,431</b>	<b>56.7</b>
現金及び預金	23,642		31,119		27,293		24,185		23,136	
受取手形及び売掛金	29,757		31,914		40,921		39,415		32,516	
有価証券	11,405		5,080		3,189		4,131		7,771	
棚卸資産	9,141		11,183		11,986		12,371		11,684	
繰延税金資産	1,178		1,419		2,412		1,870		1,201	
その他	3,073		1,647		2,316		4,157		7,262	
貸倒引当金	-181		-146		-94		-67		-141	
<b>固定資産</b>	<b>65,766</b>	<b>45.4</b>	<b>64,128</b>	<b>42.8</b>	<b>65,215</b>	<b>42.6</b>	<b>66,038</b>	<b>43.4</b>	<b>63,716</b>	<b>43.3</b>
有形固定資産	39,638	27.4	37,415	25.0	36,683	24.0	42,159	27.7	40,850	27.8
建物及び構築物	23,158		21,475		19,789		18,562		20,351	
機械装置及び運搬具	2,708		2,236		1,644		1,926		1,958	
土地	11,145		11,031		10,988		11,009		10,990	
建設仮勘定	245		177		1,750		8,200		4,966	
その他	2,379		2,495		2,511		2,460		2,582	
無形固定資産	7,317	5.0	5,233	3.5	4,781	3.1	5,164	3.4	4,781	3.2
営業権	5,912		1,804		1,556		2,260		1,598	
ソフトウェア	1,071		884		721		992		911	
連結調整勘定	-		-		-		17		13	
その他	333		2,544		2,504		1,893		2,256	
投資等	18,810	13.0	21,479	14.3	23,750	15.5	18,715	12.3	18,085	12.3
投資有価証券	9,728		10,104		13,237		9,821		9,945	
長期繰延税金資産	751		2,568		1,826		2,515		2,331	
その他	8,344		8,812		8,687		6,392		5,808	
貸倒引当金	-14		-6		-0		-13		-0	
<b>繰延資産</b>	<b>-</b>		<b>-</b>		<b>2</b>		<b>-</b>		<b>-</b>	
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>1,128</b>	<b>0.8</b>	<b>3,621</b>	<b>2.4</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>資産合計</b>	<b>144,913</b>	<b>100.0</b>	<b>149,968</b>	<b>100.0</b>	<b>153,242</b>	<b>100.0</b>	<b>152,103</b>	<b>100.0</b>	<b>147,147</b>	<b>100.0</b>

### 【主な増減内容】

(2002.3と2003.3との主な増減内容を記載しております。)

- ・受取手形及び売掛金 前期は、期末日が金融機関の休日であった為、未決済売上債権6,172百万円が含まれていましたが、当期は、この影響を受けておりません。
- ・有価証券 コマーシャル・ペーパー 2,501百万円の購入等により増加しています。
- ・建物及び構築物 奈良研究開発センター 工事完成により、1,566百万円を建設仮勘定から振替えています。
- ・建設仮勘定 能登工場製造設備 1,633百万円のリース契約、奈良研究開発センター 1,113百万円の振替により減少しています。

## 負債および資本の部

	1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)
<b>流動負債</b>	<b>24,156</b>	<b>16.7</b>	<b>21,959</b>	<b>14.6</b>	<b>27,340</b>	<b>17.8</b>	<b>26,334</b>	<b>17.3</b>	<b>39,637</b>	<b>26.9</b>
支払手形及び買掛金	5,960		5,076		6,900		4,798		5,476	
短期借入金	2,000		-		-		-		-	
一年以内償還予定の転換社債	-		-		-		-		19,945	
一年以内返済予定の長期借入金	650		653		629		1,417		416	
未払金	7,163		7,565		10,784		11,754		9,117	
未払法人税等	4,524		3,822		4,640		3,428		1	
未払消費税等	551		476		582		484		283	
賞与引当金	1,893		2,116		2,088		2,311		2,432	
その他の引当金	1,038		1,180		1,157		1,067		741	
その他	374		1,067		556		1,071		1,222	
<b>固定負債</b>	<b>31,806</b>	<b>21.9</b>	<b>32,340</b>	<b>21.6</b>	<b>31,068</b>	<b>20.3</b>	<b>30,668</b>	<b>20.2</b>	<b>10,384</b>	<b>7.1</b>
転換社債	19,945		19,945		19,945		19,945		-	
長期借入金	5,806		5,148		4,518		3,103		2,686	
長期未払金	891		398		30		-		86	
退職給与引当金	3,643		5,388		-		-		-	
退職給付引当金	-		-		5,058		5,156		5,288	
役員退職慰労引当金	343		214		246		444		465	
連結調整勘定	7		-		-		-		-	
繰延税金負債	-		41		38		34		32	
その他	1,167		1,211		1,230		1,983		1,825	
<b>負債合計</b>	<b>55,962</b>	<b>38.6</b>	<b>54,299</b>	<b>36.2</b>	<b>58,408</b>	<b>38.1</b>	<b>57,002</b>	<b>37.5</b>	<b>50,021</b>	<b>34.0</b>
資本金	6,180		6,180		6,205		6,214		6,214	
資本剰余金	6,874		6,874		6,900		6,908		6,908	
利益剰余金	75,924		82,663		83,735		83,892		90,551	
その他有価証券評価差額金	-		-		1,289		474		293	
為替換算調整勘定	-		-		-3,255		-2,382		-3,566	
自己株式	-28		-50		-41		-5		-3,276	
<b>資本合計</b>	<b>88,950</b>	<b>61.4</b>	<b>95,669</b>	<b>63.8</b>	<b>94,834</b>	<b>61.9</b>	<b>95,101</b>	<b>62.5</b>	<b>97,125</b>	<b>66.0</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>144,913</b>	<b>100.0</b>	<b>149,968</b>	<b>100.0</b>	<b>153,242</b>	<b>100.0</b>	<b>152,103</b>	<b>100.0</b>	<b>147,147</b>	<b>100.0</b>

## 【主な増減内容】

(2002.3と2003.3との主な増減内容を記載しております。)

- ・一年以内償還予定  
 の転換社債 2003.9.30償還予定の為、固定負債「転換社債」から振替えています。
- ・未払金 固定資産関連の未払金の減少によります。
- ・自己株式 2003.3自己株式 2,741千株を 3,237百万円で取得、金庫株として保有していることによりま

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>					
税金等調整前当期純利益	15,968	14,422	15,520	12,678	9,947
減価償却費	6,313	5,725	5,683	5,333	4,311
退職給付(給与)引当金の増減額	125	1,616	-330	97	132
有価証券・投資有価証券売却・評価損益	298	1,125	-	145	591
売上債権の増減額	-343	-2,351	-8,372	1,804	6,965
たな卸資産の増減額	99	-2,197	-765	-183	647
仕入債務の増減額	-988	-842	1,812	-2,137	660
その他営業活動キャッシュ・フロー	2,377	1,012	1,376	-2,495	-1,132
小計	23,849	18,510	14,928	15,244	22,122
利息及び配当金の受取額	657	526	529	227	140
利息の支払額	-587	-461	-406	-464	-458
法人税等の支払額	-7,226	-9,202	-8,219	-8,065	-5,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,692	9,372	6,831	6,941	15,807
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>					
定期預金等の預入・払戻	-1,135	2,204	-815	-1,143	558
有価証券・投資有価証券取得・売却	-4,708	2,455	2,530	789	-4,188
固定資産の取得による支出	-3,442	-2,510	-4,942	-6,585	-7,045
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	-	-	-537	-
貸付金の回収による入金	497	515	158	1,011	11
その他投資活動キャッシュ・フロー	-650	-1,827	-102	90	711
投資活動によるキャッシュ・フロー	-9,439	835	-3,172	-6,373	-9,951
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>					
短期借入金の増減額	1,951	-2,000	-	-	-
長期借入金の増減額	-4,718	-648	-654	-624	-1,420
配当金の支払額	-1,140	-1,140	-1,520	-1,854	-1,812
自己株式の増減額	42	-19	-5,080	-3,223	-3,273
その他財務活動キャッシュ・フロー	26	-9	62	17	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	-3,838	-3,817	-7,192	-5,683	-6,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	-84	-237	360	176	84
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	3,330	6,154	-3,172	-4,939	-566
現金及び現金同等物の期首残高	24,242	27,573	33,727	30,555	25,619
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	4	-
現金及び現金同等物の期末残高	27,573	33,727	30,555	25,619	25,053

## 設備投資額

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	2004.3 (予想)
連結	2,018	2,222	3,039	8,516	4,134	3,930
単体	1,119	1,533	2,396	7,507	3,820	2,650

(注) 上記設備投資額には、リース契約予定の製造設備を含んでおります。

### 【主な設備投資】

生産プロセス改革に伴う、滋賀工場及び能登工場の設備増設  
研究開発力強化に伴う、奈良研究開発センターの拡張

## 減価償却費

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	2004.3 (予想)
製造経費	2,645	2,282	2,009	1,783	1,549	1,620
販管費	773	788	791	829	699	800
研究開発費	829	861	1,345	1,190	1,224	1,630
その他	96	114	189	34	164	140
連結合計	4,343	4,045	4,336	3,837	3,638	4,190
内、単体	3,824	3,776	3,961	3,347	2,967	3,400

## リース料

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	2004.3 (予想)
連結	2,266	2,259	2,302	1,879	675	770
うち、製造経費	2,224	2,223	2,232	1,817	588	690
単体	2,222	2,259	2,302	1,879	675	770

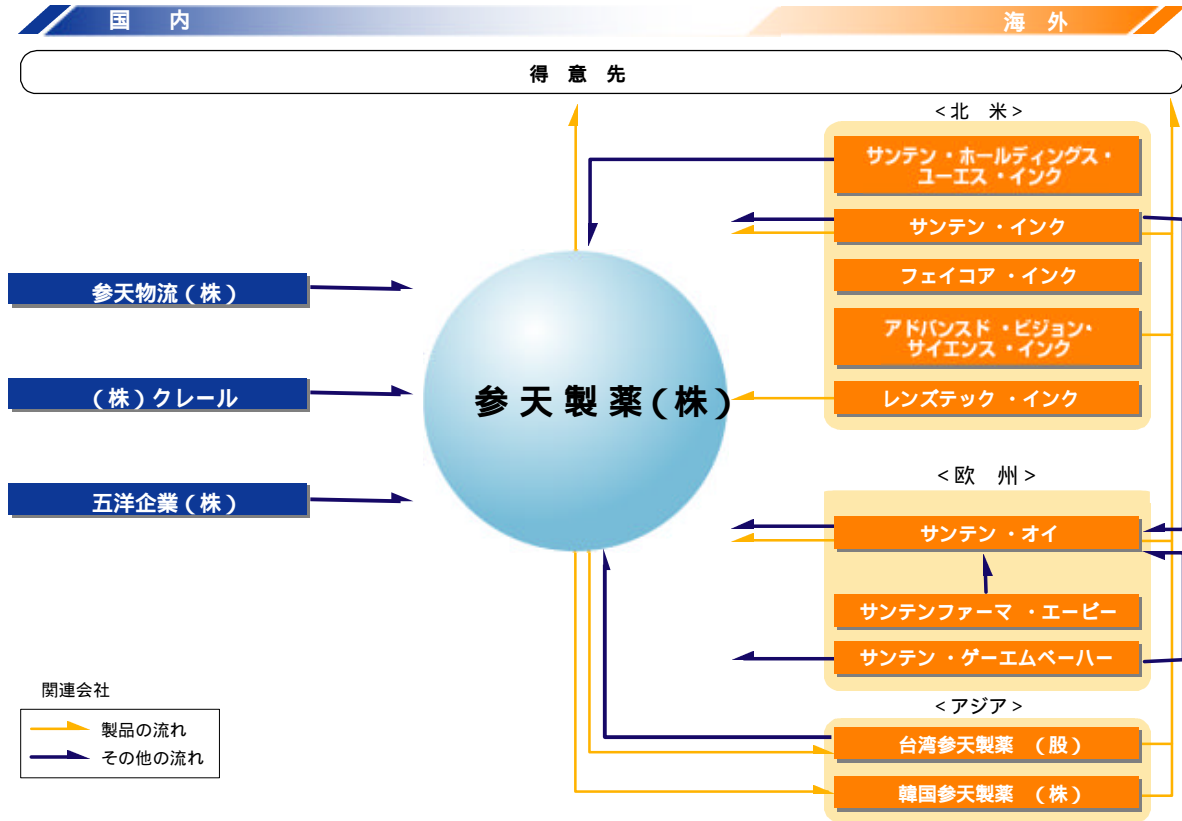
## 期末人員数

(単位：人)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
連結	2,037	2,093	2,167	2,463	2,500
単体	1,576	1,582	1,592	1,702	1,740

# 連結会社・関連会社一覧

グループ会社関係図



## 連結会社一覧

### 【国内】

参天物流(株)					
事業内容	医薬品の保管・搬送				
所在地	大阪市・東淀川区	資本金	3,000万円	出資比率	100%

(株)クレール					
事業内容	無塵・無菌服のクリーニング				
所在地	滋賀県・多賀町	資本金	9,000万円	出資比率	100%

五洋企業(株)					
事業内容	不動産賃貸業				
所在地	大阪市・東淀川区	資本金	9,000万円	出資比率	100%



**【海外】**

サンテン・ホールディングス・ユーエス・インク					
事業内容	北米事業の持株会社				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	15,029千米ドル	出資比率	100%

サンテン・インク					
事業内容	医薬品の臨床開発・受託製造・販売支援				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	8,785千米ドル	出資比率	*100%

フェイコア・インク					
事業内容	医療機器の開発・製造・販売				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	10千米ドル	出資比率	*100%

アドバンスド・ビジョン・サイエンス・インク					
事業内容	医療機器の開発・製造・販売				
所在地	アメリカ・カリフォルニア	資本金	10千米ドル	出資比率	*100%

サンテン・オイ					
事業内容	医薬品の臨床開発・製造・販売				
所在地	フィンランド・タンペレ	資本金	8,000千ユーロ	出資比率	100%

サンテンファーマ・エービー					
事業内容	医薬品の販売支援				
所在地	スウェーデン・ストックホルム	資本金	500千スウェーデンクローナ	出資比率	100%

サンテン・ゲーエムベーハー					
事業内容	医薬品の臨床開発・販売支援、事業開発				
所在地	ドイツ・ゲルマリンク	資本金	25千ユーロ	出資比率	100%

台湾参天製薬(股)					
事業内容	医薬品の輸入・販売				
所在地	台湾・台北市	資本金	42,000千台湾ドル	出資比率	100%

韓国参天製薬(株)					
事業内容	医薬品の輸入・販売				
所在地	韓国・ソウル市	資本金	1,500,000千韓国ウォン	出資比率	100%

関連会社数は1社ありますが、持分法適用会社はありません。

出資比率欄\*は、サンテン・ホールディングス・ユーエス・インクを通じた間接出資。

前連結会計年度において子会社であったサンテン・ファーマシューティカル・ビーヴィは、平成15年3月に任意行っています。

# 単体情報

## 単体損益計算書

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
<b>売上高</b>	<b>74,498</b>	<b>79,669</b>	<b>84,295</b>	<b>82,990</b>	<b>82,372</b>	<b>-0.7</b>
売上原価 (対売上高比率)	29,647 39.8%	29,946 37.6%	30,996 36.8%	29,829 35.9%	28,901 35.1%	<b>-3.1</b>
<b>売上総利益</b> (対売上高比率)	<b>44,850</b> 60.2%	<b>49,722</b> 62.4%	<b>53,298</b> 63.2%	<b>53,161</b> 64.1%	<b>53,471</b> 64.9%	0.6
販売費及び一般管理費 (対売上高比率)	28,870 38.8%	32,125 40.3%	34,586 41.0%	37,575 45.3%	36,141 43.9%	<b>-3.8</b>
(うち研究開発費) (対売上高比率)	7,896 10.5%	9,863 12.3%	10,936 12.9%	12,809 15.4%	12,109 14.7%	<b>-5.5</b>
<b>営業利益</b> (対売上高比率)	<b>15,979</b> 21.4%	<b>17,596</b> 22.1%	<b>18,712</b> 22.2%	<b>15,586</b> 18.8%	<b>17,329</b> 21.0%	11.2
営業外収益	1,275	1,017	1,114	932	719	<b>-22.8</b>
営業外費用	1,226	905	753	458	1,037	126.4
<b>経常利益</b> (対売上高比率)	<b>16,029</b> 21.5%	<b>17,708</b> 22.2%	<b>19,072</b> 22.6%	<b>16,060</b> 19.3%	<b>17,011</b> 20.7%	5.9
特別利益	314	42	57	952	16	<b>-98.3</b>
特別損失	177	3,222	1,433	263	14,728	5,481.9
<b>税金等調整前当期純利益</b> (対売上高比率)	<b>16,166</b> 21.7%	<b>14,528</b> 18.2%	<b>17,697</b> 21.0%	<b>16,749</b> 20.2%	<b>2,299</b> 2.8%	<b>-86.3</b>
法人税、住民税及び事業税	8,323	7,966	8,644	6,515	442	<b>-93.2</b>
法人税等調整額	<b>-350</b>	<b>-1,750</b>	<b>-1,112</b>	300	985	227.7
<b>当期純利益</b> (対売上高比率)	<b>8,192</b> 11.0%	<b>8,312</b> 10.4%	<b>10,165</b> 12.1%	<b>9,932</b> 12.0%	<b>871</b> 1.1%	<b>-91.2</b>

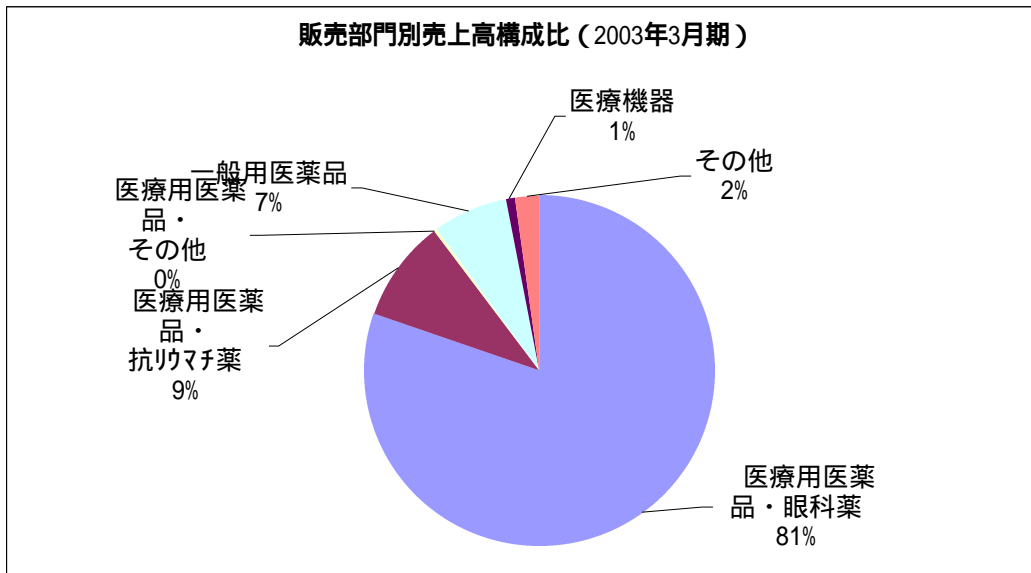
### 主な販売費及び一般管理費の内訳

(単位：百万円)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率 (%)
人件費	7,984	8,322	8,237	8,626	8,746	1.4
拡販費	1,787	2,269	2,533	2,676	2,399	<b>-10.3</b>
販売権等行使料	2,181	2,174	2,527	2,358	1,951	<b>-17.3</b>
広告宣伝費	2,080	2,001	1,364	1,869	1,655	<b>-11.5</b>
研究開発費	7,896	9,863	10,936	12,809	12,109	<b>-5.5</b>

販売部門別売上高

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3	対前期増減率(%)
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
医療用医薬品	66,430	71,008	76,576	74,221	74,130	-0.1
眼科薬	59,329	63,618	69,152	66,379	66,207	-0.3
抗リマチ薬	5,893	6,305	6,729	7,291	7,631	4.7
その他	1,207	1,084	694	551	291	-47.1
一般用医薬品	6,445	6,964	5,255	6,592	5,656	-14.2
医療機器	980	1,017	1,144	842	855	1.5
その他	641	678	1,318	1,334	1,730	29.6
合計	74,498	79,669	84,295	82,990	82,372	-0.7



# 単体貸借対照表

## 資産の部

	1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)
<b>流動資産</b>	<b>74,507</b>	<b>51.8</b>	<b>75,602</b>	<b>50.6</b>	<b>82,645</b>	<b>52.5</b>	<b>78,800</b>	<b>49.7</b>	<b>75,794</b>	<b>51.3</b>
現金及び預金	21,877		26,241		24,310		19,594		18,353	
受取手形及び売掛金	28,842		31,186		39,937		37,852		31,300	
未収法人税等	-		-		-		-		2,114	
有価証券	11,405		4,876		2,984		4,797		7,745	
自己株式	28		50		41		-		-	
棚卸資産	8,297		10,445		11,096		10,997		10,348	
繰延税金資産	1,128		1,379		2,276		1,859		1,138	
その他	3,107		1,569		2,093		3,765		4,934	
貸倒引当金	-181		-146		-94		-66		-141	
<b>固定資産</b>	<b>69,234</b>	<b>48.2</b>	<b>73,732</b>	<b>49.4</b>	<b>74,687</b>	<b>47.5</b>	<b>79,656</b>	<b>50.3</b>	<b>72,075</b>	<b>48.7</b>
有形固定資産	36,062	25.1	34,078	22.8	32,844	20.9	37,539	23.7	36,304	24.5
建物及び構築物	20,802		19,237		17,511		16,040		17,887	
機械装置及び運搬具	2,259		1,745		1,235		965		857	
工具・器具及び備品	2,164		2,192		1,926		1,724		1,932	
土地	10,819		10,742		10,666		10,666		10,666	
建設仮勘定	17		160		1,503		8,142		4,959	
無形固定資産	1,013	0.7	4,350	2.9	3,973	2.5	3,446	2.2	3,129	2.1
特許権	-		1,191		1,039		887		736	
商標権	-		1,203		1,081		962		839	
販売権	-		1,177		934		692		449	
ソフトウェア	899		673		543		797		719	
その他	113		103		373		106		384	
投資等	32,158	22.4	35,304	23.7	37,869	24.1	38,670	24.4	32,641	22.1
投資有価証券	9,536		9,912		13,419		9,991		10,819	
関係会社株式・出資金	13,520		14,303		14,455		15,567		4,618	
長期貸付金	1,462		1,261		1,051		4,671		9,346	
長期繰延税金資産	698		2,197		1,479		2,185		2,052	
その他	6,940		7,629		7,464		6,253		5,803	
<b>資産合計</b>	<b>143,741</b>	<b>100.0</b>	<b>149,335</b>	<b>100.0</b>	<b>157,332</b>	<b>100.0</b>	<b>158,456</b>	<b>100.0</b>	<b>147,869</b>	<b>100.0</b>

### 【主な増減内容】

(2002.3と2003.3との主な増減内容を記載しております。)

- ・受取手形及び売掛金 前期は、期末日が金融機関の休日であった為、3月末日が決済期日の売掛金 6,172百万円が含まれていましたが、当期は、この影響を受けておりません。
- ・未収法人税等 前期法人税等の還付金であります。
- ・有価証券 コマーシャル・ペーパー 2,501百万円の購入等により増加しています。
- ・流動資産(その他) 能登工場製造設備のリース会社への売却金 1,633百万円等により増加しております。
- ・建物及び構築物 奈良研究開発センター 建物 1,566百万円が、建設仮勘定からの振替等により増加していま
- ・建設仮勘定 能登工場製造設備 1,633百万円のリース契約、奈良研究開発センター 1,113百万円の建物及び構築物への振替により減少しています。

**負債および資本の部**

	1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)	百万円	構成比 (%)
<b>流動負債</b>	<b>23,358</b>	<b>16.3</b>	<b>21,268</b>	<b>14.2</b>	<b>25,870</b>	<b>16.5</b>	<b>24,094</b>	<b>15.2</b>	<b>38,055</b>	<b>25.7</b>
支払手形及び買掛金	5,698		4,711		6,452		4,335		5,122	
短期借入金	2,000		-		-		-		-	
一年以内償還予定の転換社債	-		-		-		-		19,945	
一年以内返済予定の長期借入金	640		640		624		1,416		416	
未払金	7,187		8,298		10,556		11,242		9,449	
未払法人税等	4,470		3,741		4,597		3,412		-	
未払消費税等	544		470		573		478		275	
引当金	2,685		2,855		2,858		2,886		2,609	
その他	131		489		207		323		237	
<b>固定負債</b>	<b>31,631</b>	<b>22.0</b>	<b>32,204</b>	<b>21.6</b>	<b>30,735</b>	<b>19.5</b>	<b>29,654</b>	<b>18.7</b>	<b>9,530</b>	<b>6.5</b>
転換社債	19,945		19,945		19,945		19,945		-	
長期借入金	5,782		5,142		4,518		3,102		2,686	
長期未払金	891		389		30		-		-	
退職給与引当金	3,986		5,599		-		-		-	
退職給付引当金	-		-		5,290		5,580		5,724	
その他	1,025		1,127		951		1,026		1,120	
<b>負債合計</b>	<b>54,989</b>	<b>38.3</b>	<b>53,472</b>	<b>35.8</b>	<b>56,605</b>	<b>36.0</b>	<b>53,749</b>	<b>33.9</b>	<b>47,586</b>	<b>32.2</b>
資本金	6,180	4.3	6,180	4.1	6,205	4.0	6,214	3.9	6,214	4.2
資本剰余金	6,874	4.8	6,874	4.6	6,900	4.3	6,908	4.4	6,908	4.6
資本準備金	6,874		6,874		6,900		6,908		6,908	
利益剰余金	75,697	52.6	82,808	55.5	86,331	54.9	91,115	57.5	90,143	61.0
利益準備金	1,195		1,316		1,473		1,551		1,551	
退職給与積立金	372		372		372		372		372	
特別償却準備金	361		295		287		250		180	
別途積立金	63,709		72,409		79,409		82,109		84,109	
当期末処分利益	10,058		8,414		4,789		6,833		3,930	
[うち、当期純利益]	8,192		8,312		10,165		9,932		871	
その他有価証券評価差額金	-	-	-	-	1,289	0.8	474	0.3	293	0.2
自己株式	-	-	-	-	-	-	-5	-0.0	-3,276	-2.2
<b>資本合計</b>	<b>88,752</b>	<b>61.7</b>	<b>95,863</b>	<b>64.2</b>	<b>100,727</b>	<b>64.0</b>	<b>104,706</b>	<b>66.1</b>	<b>100,283</b>	<b>67.8</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>143,741</b>	<b>100.0</b>	<b>149,335</b>	<b>100.0</b>	<b>157,332</b>	<b>100.0</b>	<b>158,456</b>	<b>100.0</b>	<b>147,869</b>	<b>100.0</b>

**【主な増減内容】**

(2002.3と2003.3との主な増減内容を記載しております。)

- ・一年以内償還予定  
の転換社債 2003.9.30償還予定の為、固定負債「転換社債」から振替えています。
- ・未払金 固定資産関連の未払金の減少によります。
- ・未払法人税等 当期純利益の減少によります。
- ・自己株式 2003.3自己株式 2,741千株を 3,237百万円で取得、金庫株として保有していること等により増加しています。

## 参考情報 研究開発の状況

医薬品開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	製品名	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
レボフロキサシン	クラビット クイクシン0.5% オフトクイクス0.5% レボフロキサシン1.5%	外眼部感染症 外眼部感染症 外眼部感染症 細菌性角膜潰瘍	第一製薬	日本					2000年4月
				米国					2000年11月
				欧州					2002年5月
				米国				2003年4月	
レボフロキサシン+ブレドニゾロンA	DE-094	感染による角膜炎	第一製薬	米国					

特長：ニューキノロン系抗菌薬。高濃度製剤が可能になり、より強力な抗菌作用を発揮する。難治性の細菌性角膜潰瘍にも効果が期待される。欧州では10カ国で承認を取得し、ドイツ等4カ国で販売開始。レボフロキサシン+ブレドニゾロンAはレボフロキサシンとステロイドの合成点眼液。

一般名	製品名	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ペミロラストカリウム	アレギサル アラマスト アラマスト	アレルギー性結膜炎	三菱ウェルファーマ	日本					1995年4月
				米国					2000年7月
				フランス				1999年12月	

特長：ケミカルメディエーター遊離阻害薬で、アレルギー性結膜炎や春季カタルに対して優れた効果を示す。

一般名	製品名	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ヒアルロン酸ナトリウム	ヒアレイン ヒアレイン	角結膜上皮障害 ドライアイ	自社	日本					1995年6月
				米国	準備中				

特長：生体成分であるヒアルロン酸ナトリウムを含有する角結膜上皮障害の治療用点眼剤。眼球乾燥症候群（ドライアイ）、コンタクト装用等に伴う角結膜上皮障害を改善する。

一般名	コード番号	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	DE-076	春季カタル	導入	日本					

特長：オーファンドラッグ。免疫抑制薬シクロスポリンの眼科適用。従来の抗アレルギー薬では効果不十分な中等度以上の春季カタルに対する効果が期待される。点眼薬であるため、全身性の副作用はほとんど認められない。

一般名	コード番号	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
未定	DE-085	緑内障・高眼圧症	旭硝子と共同	米国 日本					

特長：プロスタグランジン系緑内障治療薬（眼圧下降薬）。3種同時開発。他のプロスタグランジン系薬剤よりも強い眼圧下降作用が期待される。室温保存が可能である。

一般名	コード番号	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オルメサルタン	DE-092	緑内障・高眼圧症	三共	日本					

特長：アンジオテンシン 受容体拮抗剤として唯一の本格開発段階にある薬剤。PG製剤に匹敵する強力な眼圧下降作用を有する。副作用（結膜充血など眼局所を含む）が極めて低いと想定される薬剤である。特に高眼圧の緑内障が大半を占める欧米において、高いポテンシャルを有する。

一般名	コード番号	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
塩酸ロメリジン	DE-090	緑内障	日本オルガノン	日本					

特長：視野欠損の進行抑制作用を有する新しい緑内障治療剤。カルシウム拮抗作用に基づく経口緑内障薬としては、唯一の本格的開発薬剤。NMDA受容体拮抗剤と異なり、全身性の副作用が明らかに軽微であり、高い安全性を有する。日本オルガノン社により偏頭痛薬として上市済。

一般名	コード番号	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
diquafosol tetrasodium	DE-089	ドライアイ	インスパイア社(米国)	日本					

特長：角結膜上皮から涙液構成成分や水分の分泌を促すドライアイ治療剤。既存薬との併用が可能であるとともに無効例への効果も期待できる薬剤。

一般名	コード番号	効能	自社／導入等	地域	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アバファント	DE-081	アレルギー性結膜炎	導入	日本					

特長：PAF（血小板活性化因子）拮抗薬。炎症・アレルギーにおけるプロスタグランジンやケミカルメディエーターの分泌・産生を抑制する。アレルギー性結膜炎の充血・浮腫・掻痒感に対する効果が期待される。眼刺激

**医薬品開発状況一覧表（臨床準備中 一部抜粋）**

一般名	コード番号	効能	自社/導入等
未定	DE-096	関節リウマチ	自社
特長：TNF阻害剤。経口にて抗体製剤に匹敵する抗リウマチ効果を基礎にて確認。海外導出に関し海外大手製薬企業と近く本格交渉を開始。国内開発についても数社と提携交渉を開始。			
一般名	コード番号	効能	自社/導入等
未定	DE-098(抗APO-1抗体)	関節リウマチ	自社
特長：RA患者の罹病関節内でアポトーシスを誘導する関節注入剤。実生産規模での原薬製造法工程を確立し、製剤開発検討実施中。			
一般名	製品名	効能	自社/導入等
ブシラミン	リマチル	変形性関節症(効能追加)	自社
特長：OAによる関節炎症への効果を確認。			

**医療機器 開発状況一覧表**

開発品目	製品名	開発地域
眼内レンズ	MD - 13	日本
特長：新しい素材を用いたフォールダブル眼内レンズ。既にレンズテック社、スターサージカル社がヨーロッパを中心に発売済。		
開発品目	製品名	開発地域
眼内レンズ	MD - 14	日本・米国
特長：高屈折率の新しい素材を光学部に用いたフォールダブルレンズ。米国アドバンスド・ビジョン・サイエンス社が開発。		

**前回発表時(2002年11月7日)との変更点**
**【進階】**

製品名/コード番号	効能	開発ステージ
レボフロキサシン1.5%(米国)	細菌性角膜潰瘍	フェーズ3 申請
DE-092	緑内障・高眼圧症	フェーズ2
DE-089	ドライアイ	フェーズ1 フェーズ2

**【臨床試験方法変更】**

製品名	効能	開発ステージ
ヒアレイン(米国)	ドライアイ	フェーズ3 フェーズ2準備中
理由：フェーズ3の試験ではフェーズ2と同様に、ヒアレインのアクティブ投与群でドライアイの発症の症状軽減は明らかに認められたが、フェーズ2と異なりプラセボ群でも発症の軽減が認められた被験者が多く見られた。従って臨床試験モデルを変更し、フェーズ2から臨床試験を再度実施する予定。		

**【開発中止】**

製品名	効能	中止前開発ステージ
ヒアレイン(英国)	ドライアイ	フェーズ2
理由：欧州での市場性を考慮し、開発を中止。		
化合物名	効能	中止前開発ステージ
ADL2-1294	鎮痛点眼剤	前臨床
理由：安全性に問題があると判断し、開発を中止。		

**研究開発部門人員数の推移**

(単位：人)

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
研究開発人員(連結)	314	370	404	482	485

# 国内医薬品市場の状況

## 薬価改定率

(単位：%)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
全体	-	-8.1	-	-6.6	-	-6.8	-4.4	-9.7	-	-7.0	-	-6.3	-
眼科薬	-	-0.6	-	-1.6	-	-3.5	-1.8	-7.5	-	-6.2	-	-6.0	-
参天製薬	-	0.9	-	-0.4	-	-2.6	-1.3	-7.2	-	-5.7	-	-6.0	-

(自社集計)

薬価改定率：薬剤の市場価格を薬価に反映させるために原則2年に一度薬価改定が行われており、市場実勢価格が低く新薬価が低く算定された薬剤ほど薬価改定率は高くなる。

## 主な医療保険制度改正

1997年

医療保険改正法施行

被用者保険本人(サラリーマン本人)の定率負担の増額(1割 2割)

老人保険法改正

一部負担金 外来：1日500円(月4回まで)、入院：1日1,000円

2001年

老人保険法改正

(一部負担金 外来：定率1割負担、入院：定率1割負担)

2002年4月

診療報酬 2.7%

調剤報酬改定(後発品を処方すると保険点数プラス2点が上乗せ)

2002年10月

高齢者医療負担増(定額制の撤廃。定率1割負担に一本化)

2003年4月

被用者保険本人(サラリーマン本人)の定率負担の増額(2割 3割)



**マーケットシェア**

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
医療用眼科薬	45.6% 1,625億円	44.2% 1,796億円	42.9% 1,894億円	40.3% 1,971億円	38.9% 1,958億円
抗リウマチ薬	27.3% 265億円	28.0% 279億円	28.5% 281億円	30.2% 289億円	30.3% 294億円

(自社集計)

(注) 薬価ベース。

下段の数値は、市場規模額です。

**医療用眼科薬～薬効別マーケットシェア**

	1999.3	2000.3	2001.3	2002.3	2003.3
抗緑内障薬	31.1% 466億円	22.4% 553億円	19.1% 602億円	17.6% 661億円	17.3% 690億円
抗感染症薬	76.2% 297億円	77.4% 310億円	80.8% 310億円	81.8% 302億円	80.9% 276億円
抗アレルギー薬	33.1% 202億円	31.5% 229億円	29.2% 268億円	18.2% 265億円	17.5% 250億円
手術用剤	39.9% 176億円	42.4% 177億円	41.9% 160億円	41.0% 160億円	39.6% 148億円
角膜疾患治療剤	88.0% 116億円	89.9% 139億円	89.3% 153億円	89.0% 172億円	85.4% 188億円
抗白内障薬	40.0% 81億円	43.5% 80億円	47.0% 79億円	50.1% 77億円	53.3% 77億円
コルチコステロイド剤	55.1% 119億円	55.9% 125億円	56.2% 127億円	56.0% 125億円	53.1% 114億円

(自社集計)

(注) 薬価ベース。

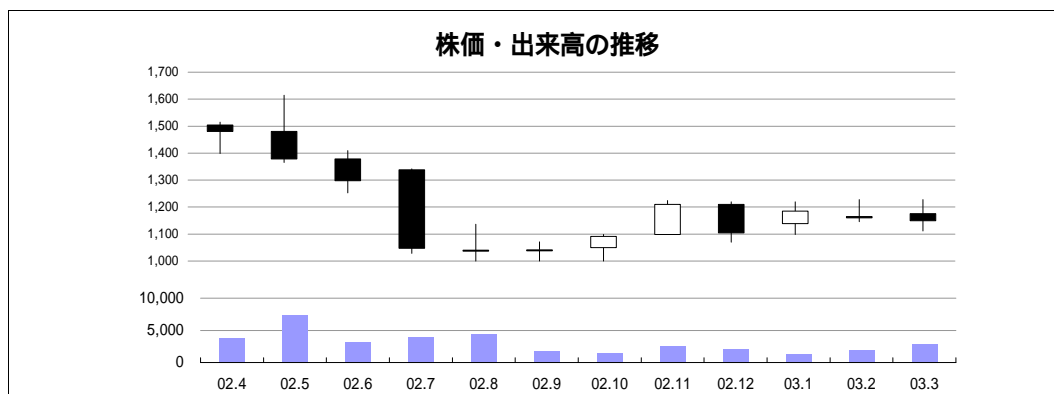
下段の数値は、市場規模額です。

# 株式情報

## 株価情報（大阪証券取引所 1 部）

（株価：円・出来高：千株）

	02.4	02.5	02.6	02.7	02.8	02.9	02.10	02.11	02.12	03.1	03.2	03.3
始値	1,504	1,480	1,378	1,338	1,040	1,038	1,050	1,099	1,210	1,139	1,165	1,176
高値	1,515	1,615	1,409	1,342	1,136	1,071	1,099	1,224	1,220	1,219	1,228	1,228
安値	1,399	1,366	1,253	1,029	991	999	990	1,099	1,070	1,099	1,146	1,111
終値	1,480	1,378	1,298	1,048	1,037	1,041	1,091	1,210	1,104	1,185	1,160	1,150
出来高	3,736	7,306	3,209	3,962	4,383	1,728	1,462	2,495	2,097	1,322	1,979	2,857



## 大株主の状況（上位10名）

2003.3.31現在

株主名	所有株式数	議決権比率
	千株	%
ノーザントラストカンパニーエイブイイフシーサブアカウントアメリカクライアント	10,072	11.5
日本トラスティサービス信託銀行株式会社	5,902	6.7
三田産業株式会社	4,756	5.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,483	5.1
日本生命保険相互会社	4,272	4.9
株式会社UFJ銀行	3,221	3.7
UFJ信託銀行株式会社	3,117	3.6
株式会社東京三菱銀行	2,724	3.1
東京海上火災保険株式会社	2,668	3.0
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,072	2.4

## 転換社債・ストックオプションの状況

	1999	2000	2001	2002	2003
発行済株式数（千株）	95,074	95,074	92,720	90,704	90,704
第3回転換社債残高(百万円)	19,945	19,945	19,945	19,945	19,945
ストックオプション残高（千株）	106	172	199	243	335
1998.6 106千株（行使価額 1,540円）	106	106	73	62	62
1999.6 66千株（行使価額 2,480円）	-	66	66	66	66
2000.6 60千株（行使価額 2,705円）	-	-	60	60	60
2001.6 55千株（行使価額 2,299円）	-	-	-	55	55
2002.6 92千株（行使価額 1,326円）	-	-	-	-	92

\* 1.2001.3に2,387千株、2002.3に2,027千株の自己株式の消却を実施しています。

\* 2.第3回転換社債の発行条件は以下の通りです。

（発行日）1996年9月12日 （償還日）2003年9月30日

（発行総額）200億円 （クーポン）0.8% （転換価格）2,171.80円

\* 3.ストックオプションの付与対象者は、海外子会社を含む取締役及び執行役員です。

なお、付与後2年間は権利行使が出来ません。

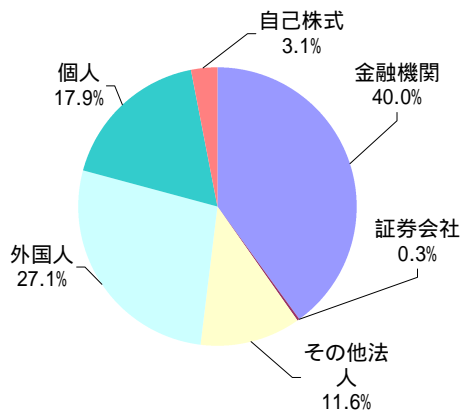
所有株式数別分布状況（2002年8月1日より1単元の株式の数を1,000株より100株に引下げています。）

	1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %	株式数 千株	構成比 %
金融機関	54,106	56.9	50,099	52.7	52,429	56.5	41,005	45.2	36,302	40.0
銀行	16,393	17.2	14,862	15.6	11,581	12.5	9,054	9.9	6,660	7.3
信託銀行	25,905	27.3	24,853	26.2	29,651	32.0	20,641	22.8	19,018	21.0
（うち信託業務分）	23,021		22,055		26,824		18,429		15,743	
生・損保	11,581	12.2	10,255	10.8	11,136	12.0	11,033	12.2	10,414	11.5
その他の金融機関	226	0.2	128	0.1	61	0.1	276	0.3	208	0.2
証券会社	470	0.5	499	0.5	385	0.5	646	0.7	293	0.3
その他法人	11,555	12.2	11,497	12.1	10,398	11.2	10,300	11.4	10,555	11.6
外国人	13,138	13.8	18,041	19.0	15,868	17.1	23,675	26.1	24,580	27.1
個人	15,790	16.6	14,915	15.7	13,624	14.7	15,073	16.6	16,200	17.9
自己株式	14	0.0	23	0.0	18	0.0	2	0.0	2,771	3.1
合計	95,075	100.0	95,075	100.0	92,721	100.0	90,704	100.0	90,704	100.0

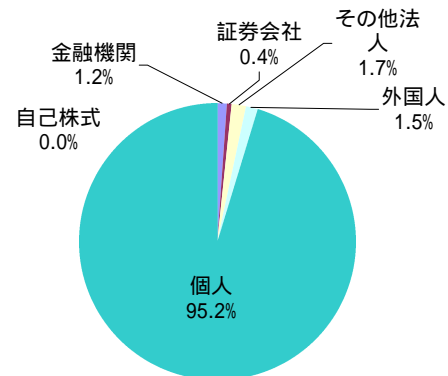
所有者別株主分布状況

	1999.3		2000.3		2001.3		2002.3		2003.3	
	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %	株主数 名	構成比 %
金融機関	110	2.2	114	2.2	108	2.2	107	1.8	98	1.2
銀行	14	0.3	15	0.3	15	0.3	13	0.2	8	0.1
信託銀行	54	1.0	60	1.2	57	1.2	60	1.0	55	0.7
生・損保	36	0.7	33	0.6	32	0.6	28	0.5	29	0.4
その他の金融機関	6	0.1	6	0.1	4	0.1	6	0.1	6	0.1
証券会社	21	0.4	20	0.4	22	0.5	35	0.6	28	0.4
その他法人	145	2.9	140	2.7	132	2.7	137	2.3	134	1.7
外国人	145	2.8	168	3.3	162	3.4	148	2.4	119	1.5
個人	4,597	91.6	4,679	91.3	4,387	91.2	5,583	92.9	7,493	95.2
自己株式	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0
合計	5,019	100.0	5,122	100.0	4,812	100.0	6,011	100.0	7,873	100.0

所有株式数別分布状況（2003年3月）



所有者別株主分布状況（2003年3月）



# ニュースリリース

## 今期のニュースリリース抜粋（2002年4月～2003年3月）

詳しくは、当社IRサイトの「ニュースリリース」ページ（和文：<http://www.santen.co.jp/ir/jp/news>、英文：<http://www.santen.co.jp/ir/en/news>）をご覧ください。

- | （発表日） | （内容）   |
|-------|--|
| 4月10日 | <b>滋賀工場第2棟竣工のお知らせ</b><br>2001年7月から建設を進めていました滋賀工場製剤第2棟の建設工事が竣工しました。製剤第2棟は、最新の生産技術・ノウハウを導入した医療用点眼薬の製造工場、製品安定供給のための生産能力の確保と、コスト競争力の強化を可能にするものです。  |
| 4月11日 | <b>蛍光眼底造影剤「オフサグリーン静注用25mg」の製造承認取得について</b><br>蛍光眼底造影剤「オフサグリーン静注用25mg」（一般名：インドシアニングリーン）の製造承認を取得しました。第一製薬（株）が肝機能検査および循環機能検査用薬として製造・販売しているインドシアニングリーンを眼科用に応用したもので、これまでの眼底造影剤では不十分であった網膜色素上皮下や出血下の網脈絡膜疾患の診断が可能になりました。 |
| 5月1日  | <b>米国子会社サンテン・インコーポレーティッド取締役社長の異動について</b><br>サンテン・インコーポレーティッド取締役社長を兼任していた男澤一郎（参天製薬 執行役員 企画・業務本部長）が退任し、同社で世界臨床開発を担当していたエイドリアン・グレイブスが新社長に就任しました。  |
| 5月13日 | <b>自己株式取得に関するお知らせ（商法第21条の規定に基づく自己株式の取得）</b><br>同日開催の取締役会において、普通株式5百万株、75億円を上限とする自己株式を取得することを決定し、6月26日開催の第90回定時株主総会において承認されました。   |
| 5月28日 | <b>高研とドライアイ治療用涙小管閉鎖材「KK-951」の販売に関する契約を締結</b><br>（株）高研と同社が開発中のドライアイ治療用涙小管閉鎖材「KK-951」の日本国内での販売に関する契約を締結しました。「KK-951」は、高純度アテロコラーゲン製材で、涙小管に注入することにより、涙が眼球表面から鼻腔へ排出されるのを抑制し、眼球表面の乾燥を防ぎます。                             |
| 5月28日 | <b>ストックオプション（新株予約権）に関するお知らせ</b><br>同日開催の取締役会において、当社取締役、執行役員および主要海外子会社の取締役（計14人）に対して、ストックオプションの実施を目的とした新株予約権を無償で発行することを第90回定時株主総会に提案することを決議し、6月26日開催の同株主総会において承認されました。  |
| 5月28日 | <b>1単元の株式数の変更に関するお知らせ</b><br>8月1日から1単元の株式数を1000株から100株に変更することを決定しました。  |
| 7月1日  | <b>代謝改善解毒剤「チオラ錠100」の販売移管について</b><br>メルク・ホエイ（株）と代謝改善解毒剤「チオラ錠100」の販売移管に関する契約を締結しました。これにより、8月1日からメルク・ホエイ（株）が同剤の販売と医療機関への情報提供活動を行います。  |
| 7月5日  | <b>主要株主の異動に関するお知らせ</b><br>6月25日付で当社の主要株主（発行済株式数の10%以上を保有している株主）に異動がありました。シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミティッドによる当社株式の購入により、異動後の同社所有議決権数は9268個、総株主の議決権に対する割合は10.34%（大株主順位1位）となりました。                                   |
| 7月8日  | <b>代謝改善解毒剤「チオラ錠100」、シスチン尿症の効能の追加承認を取得</b><br>7月5日付で、代謝改善解毒剤「チオラ錠100」のシスチン尿症の追加効能が承認されました。  |
| 7月19日 | <b>「サンテ40V」新発売のご案内</b><br>7月23日、目のかすみ・疲れを改善する一般用目薬「サンテ40V」を発売しました。従来からある「サンテ40」シリーズの栄養成分強化タイプの新製品です。   |
| 8月21日 | <b>蛍光眼底造影剤「オフサグリーン静注用25mg」新発売について</b><br>8月22日、蛍光眼底造影剤「オフサグリーン静注用25mg」（一般名：インドシアニンググリーン）を発売しました。第一製薬（株）が肝機能検査および循環機能検査用薬として製造・販売しているインドシアニンググリーンを眼科用に応用したもので、これまでの眼底造影剤では不十分であった網膜色素上皮下や出血下の網脈絡膜疾患の診断が可能になりました。  |

- | (発表日)  | (内容)  |
|--------|---|
| 8月23日  | <b>「サンテ40」リニューアル新発売のご案内</b><br>8月26日、一般用目薬「サンテ40」を発売しました。目のかすみ・疲れを改善する目薬として長年にわたり多くのユーザーの支持を得ている「サンテ40NE」および「サンテ40EA」の  |
| 9月17日  | <b>見やすく使いやすくなった新しい点眼容器「ディンプルボトル」を導入</b><br>これまでの点眼容器の利点を継承しながら、「見やすさ」「使いやすさ」をさらに向上させた“くぼみ”のついた新容器「ディンプルボトル」を開発しました。10月から抗炎症点眼薬「プロラノン点眼液」に採用するのを皮切りに、今後、医療用点眼薬の容器を順次「ディン   |
| 9月30日  | <b>業績予想の修正に関するお知らせ</b><br>売上高の増加、販売費及び一般管理費の削減に加え、当社および当社100%子会社の参天物流(株)が加入する総合型厚生年金基金(大阪薬業厚生年金基金)からの脱退に際し、連結で2,205百万円の特別掛金を当中間期において債務認識し、特別損失に計上することにもない、2002年5月13日の決算発表時に公表した2003年3月期中間および通期の業績予想を修正し                     |
| 10月10日 | <b>コンタクトレンズと瞳にうるおいを保つ目薬「サンテうるおいコンタクト」新発売のご案内</b><br>コンタクトレンズの装用によって起こりがちな目の不快感・かわき・異物感を改善する人工涙液型目薬「サンテうるおいコンタクト」を発売しました。全てのコンタクトレンズに使用できますが、特にレンズ表面がマイナス荷電タイプの使い捨てコンタクトレンズにおいて、   |
| 10月30日 | <b>業績予想の修正に関するお知らせ</b><br>国内およびアジア地域での医療用医薬品の売上増加、海外における売上原価の低減と海外子会社における外貨建て負債の為替差益の発生により、2002年9月30日に修正発表しました。2003年3月期中間および通期の連結・単体の業績予想を修正しました。   |
| 11月22日 | <b>奈良研究開発センター拡張工事の完了について</b><br>2001年10月から開始した「奈良研究開発センター」の拡張工事が完了しました。この拡張により、眼科研究の一層の強化・充実を図るとともに本社所在地にある中央研究所から抗リウマチ薬の研究および合成、安全性研究、研究サポートなどの機能を移転し、眼科とリウマチの研究機能を統合しました。   |
| 11月26日 | <b>2002年12月1日付組織変更について</b><br>研究開発活動の迅速化・効率化を図るため、研究開発関連の4本部を新設の研究開発本部に統合する組織改革を行いました。  |
| 1月30日  | <b>能登工場でのISO14001認証取得について</b><br>能登工場で、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しました。これに伴い、参天製薬の国内3工場(能登・滋賀・大阪)すべてでISO14001の認証を取得したことになります。   |
| 2月20日  | <b>2003-2005中期経営計画</b><br>2004年3月期から2006年3月期までの3ヵ年の中期経営計画を策定しました。今後3年間で2006年度以降の飛躍のための準備期間と位置付け、収益体質への改革と研究開発力の強化に徹底して取り組んでいきます。これにより、中長期的には、従来の強みである販売・マーケティング力のさらなる向上に加え、眼科およびリウマチ/骨・関節分野における「製品開発力を成長の源泉とする会社」への進化を図ります。 |
| 2月20日  | <b>業績予想の修正に関するお知らせ</b><br>子会社サンテン・ファーマシューティカル・ビーヴィーの株式評価損118億円と保有有価証券評価損の特別損失への計上などに伴い、2002年11月6日に発表しました通期の連結・単体の業績予想を修正しました。   |
| 3月3日   | <b>自己株式の買付けに関するお知らせ</b><br>同日の終値1,181円で3月4日に当社普通株式300万株(上限)の取得を行うことを決定しました。   |
| 3月4日   | <b>自己株式の取得結果に関するお知らせ</b><br>前日の終値1,181円で274.1万株の自己株式を取得しました。  |
| 3月4日   | <b>(株)サンテ・ジャパンに対する商号等への「サンテ」の使用差止請求について</b><br>健康補助食品等の通信販売を主たる業とする株式会社サンテ・ジャパン(千葉県浦安市)に対し、不正競争防止法および商標法に基づき、「サンテ」を含む商号および商標の使用差止を求めて、大阪地方裁判所に提訴しました。   |

**Santen** 参天製薬株式会社